

(PFIで行っている福岡県香春町)
市設置型浄化槽事業

武内～永島線接続

(コンコース入口は派出所東)
新武雄温泉駅舎建設

(グラウンドも拡張する)
東川登小学校舎改築

平成18年度 事業紹介

(主なもの)

3月1日新市発足
人口53,000人

現議員
武雄24
山内16
北方16

新市
56人⇒30人

1市2町合併

新年おめでとうございます
本年が市民の皆様にとって
夢ある年になるよう願います

ハートコミュニケーション
栄八通信

第 26 号



武雄市議会議員

宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

① 4 7 10 月末発行

18年度事業の紹介

◎新武雄市誕生 3月1日水曜日
3万4千人から5万3千人の新市
発足。市長及び議員は、2月末で
失職し、4月9日告示で16日投票
日に新しく決まる。その間の市の
職務執行者は山内町長永尾氏。

市議は、選挙区は全域で、30人
で、人口1766人に1人です。
仮に平均に票を取った場合は、
地区は無いわけですが、単純に人
口を割れば、武雄19人、山内6人、
北方5人と予想されます。

◎武内～永島線接続 県が事業主
体で、3月末までに、不通であつ
た、川良と八並間の元水源地域が
開通し、国道34号線から川良・武
内方面にスムーズな交通が確保さ
れる。ただ、優先道路が判断しに
く、信号機の設置が必要。

◎東川登小学校舎の改築
H17年度に、地元の期成会と話
合いを続け、基本設計は済み、実
施設計も、もうすぐ終る。H18年
度改築に入る予定。

◎市設置型浄化槽事業
この事業により、公共下水道や
農排計画地区以外でも、各家庭、
20万円程度の負担で合併浄化槽を
市が設置する。遅れている武雄市
の水洗化率のアップが見込める。

◎新武雄温泉駅舎建設
企業・市民から、募金をつのり
豪華な駅を作る市もあるが、武雄
の場合、高架事業費から支出する。
※あと、上西山にある市営下山住
宅も二期15戸が2月に完成し、合
計30戸の建て替えが終了する。

新武雄市の 課題と未来

合併後は分業と共業

やはり、H18年度は、50年ぶり
の、平成の大合併が、一番の出来
事になるわけです。

私は、落選中に周辺自治体の議
会を傍聴に行き、どこも同じ様な
問答で、税金でやっているにして
は、非効率と感じ合併推進になり
ました。そんなことから、広く、ゴ
ミ処理や介護保険で実績のある杵
藤広域圏2市10町の合併を望んで
いました。

しかし、杵島6町での先行や鹿
島市との長崎線問題などで、現時
点での合併は無理であったし、市
名変更による嬉野等との合併も、
市民や議員が望んでいないと言っ
たのであれば、その範囲の中で進む
しかないかと納得しています。

また、今回、他市町の内情も、
協議の中で分り、もし次に合併す
る時には、この経験が大いに役立
つと思います。

私の願いは、無駄な死金でなく
住民の生活向上に繋がる生き金に
したいだけで、単に予算を削減し
たいわけでもありません。

厚遇や無駄を、共生や有効にし
たいだけです。だから、今後合併
はせずとも、市と民間の分業や杵
藤広域圏をはじめ、多久や伊万里
等との共業・共同処理を進め合併
と同じ効果を生み出す様に、取り
組む必要があると思います。

市内分権と自治確立

一方、現実問題の、山内・北方
との合併協議会も終了しました。
一応順調と言うことですが、い
くつか、もめる場面もありました。
①証明書手数料②出生祝金③駐在
員(区長)手当ての件で、北方町

の委員が強く主張され一時収集が
つかず、険悪なムードに。

ただ、この3件とも共通するの
は、①は百円安く、②③は増額で
要は、現在の北方町でやっている
事を止めるなどの主旨で、地域の
権利を合併で失いたくないの気持
ちは分りますが、見方によれば新
市予算からの、ぶん取り合戦の前
哨戦の様にも見え、新市になって
からの予算配分争いも心配されます。

また、ケーブルTVで、北方町
長が、「北方町は、杵島郡から、
武雄市になるだけでは何も変りま
せん。」との発言を見たが、一面
はその通りですが、単独自治体と
新市の一町とは、まったく違い、
旧市町と協力し分か合う立場だと
思います。

ただ、私も、旧町さらに旧武雄
市も、いくつかの自治組織に分れ
て、地域の祭などの自治資金を持
つ地域予算制度を作り、新市内の

西九州新幹線 今年決着か?

私は、西九州新幹線建設には、
賛成です。ただ、一部で言われて
いるような、これによって、武雄
市が大発展するとは考えていませ
ん。それは、博多からの時間短縮
効果が8分程度であることと、そ
の短縮の為に新幹線料金を払って
まで乗るかの問題、博多―小倉間
の例でも解ります。

一方、新幹線停車駅の経済効果
も言われますが、武雄市と同じ程
度の人口規模の兵庫県の相生駅を
参考にすれば、駅前開発も、乗降
客数も、大した事はありません。

しかし、私が賛成する理由は、
JR九州が、この新幹線の国の資
金を利用せずに、独自に(川登)
嬉野・大村方面に鉄道を伸ばすこ
とは考えられないと思うからです。
また、JR九州は、近い将来に
現在の長崎本線が老朽化にそなえ
更新する必要があり、その為にも

ぶん取りから分権自治を活性化さ
せ、地域で助け合い、生活しやす
い新武雄市になる事を願います。

特例債活用は市民議論を

かけこみ合併の目的は、合併特
例債で、限度173億円の50%の
86億円を10年間で活用する予定だ
が一体何に使うかは、明確でなく、
新市において決定するとの話だが、
ぜひとも市民議論の中で、事業を
決定してもらいたい。

私は、どうせ下水道や学校改築
また庁舎建築など、特例債がなく
てもしなければならぬ物に、全
額を使用してもらいたいと思う。
新市の予算で言えば、市長が誰
になろうと、高架・区画事業など
長期に渡る投資事業は変えられず
予算の約98%は、ある意味、固定
経費である。その中での特例債の
有効活用が、新市にとって大切に
あり、市民合意が必要だ。

新幹線計画を利用したが良いとの
考えのようで、利用者として、将来
的運賃値上げを考えれば得策かも。
私が一番大事と思うことは、市
民県民が、判断するに当り、正し
い情報が提供されることと思う。
県が、「チャンス」などイメー
ジPRで推進活動をしているが、
それより具体的に、長崎県が佐賀
県分を負担する金額。JRが肥前
山口―鹿島間を撤退した時の対応
や、第3セクターや、島原鉄道が
赤字の時の損失補填など示しても
らい、沿線住民や県民に安心して
賛成できる環境にしてほしい。
古川知事は、二月を次の合意の
目安と言われるが、昨年の8月・
12月も、確実な提案と準備は不足
していた、抽象的な振興策は時間
ばかり取る。具体的、総合的な提
案を望む。
「北風交渉から太陽交渉を望む」

JR鉄道高架 区画整理事業 の こんご

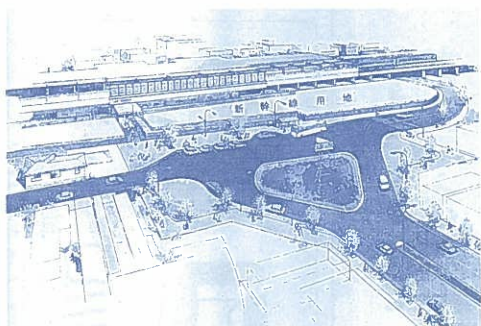
高架切替は19年春か

新南国ビルは、東側に移り現在より一階少ない6階建てになるらしい。

また、難航も予想された、テナントに対する市の営業補償も、最近合意に達したという。

そこで、一番市民が待ち望む、「踏み切りが、いつなくなるか？」について調べると、以前は、H17年5月高架切替予定だったが、現在の予測では、2年遅れのH19年5月頃らしい。

他方、新幹線がらみの変化を伝え、以前、駅南口広場を元貨物線跡を削って、ロータリー等の広場を拡大する計画だったが、そこが新幹線の用地となる為に、広場は現在の広さで、歩道等のグランドアップにとどめるらしい。



白い部分が新幹線用地で、当面の活用策も必要では

新駅舎建設

H18年度に
南側半分建設する

H18年度は、高架にレールの敷設と新駅の建設に入ると思われる。新駅については、高架期成会がJRの提案した50程度のデザインから、このNo.26番を推薦された。数年前の決定の時も伝えたが、この案の選定理由は、「未来に広がる解放感ある。」との理由です。

また、新駅の建設は、南側半分をH18年度に作り、H19年度の線路の切替後に、北側を作る予定。私は、これまで、駅が半分で交通や業務ができるのが理解できず半信半疑の状態であった。

現在は、仮駅を、前の線路の北側に、ホーム1面を作り、上りと下りの2仮線で運行している。その間に、元の場所に、高架橋と新駅を作っているが、新駅は、ホーム2面で上・下線と待機線の



H19年度以降に建設予定

※観光案内所↑
(ここに観光交流センター)



H18年度に建設予定

※トイレ・イベント室
(ここに観光交流センター)

	事業費	市負担
高架	140 (本体108 側道 32)	17
区画	84 (本事業74 まち交10)	33
合計	224	50億円

平成45年頃返済を終える予定

総額は、南国ビル移転費、約4億円を含む、9億7千5百万円で、市は60%の約6億円を負担する。ちなみに、高架・区画関係の総事業費は、左図の様に、全体22.4億円で、市の負担は5.0億円。

■ソフト事業は○観光看板○案内板○観光宣伝費用○観光資源整備などがある。

ところで、計画の内容は「ハード面事業は○街なか広場整備(南国ビル跡に広場を作る。)○高架下利用整備○長崎街道整備(新町道路整備)○桜山散策道整備など。

「まちづくり交付金」導入約10億円

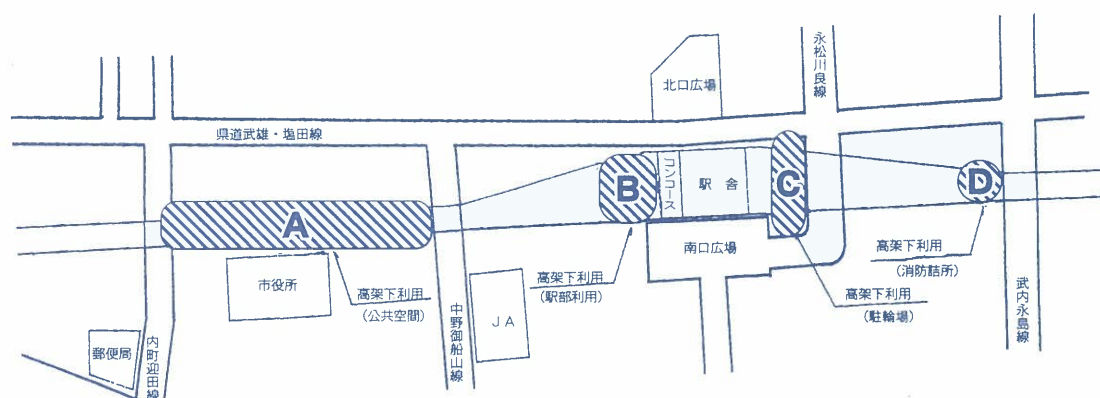
高架や駅の建設には、補助制度があるが、基本的には、付随する周辺整備は、市で行なわなければなりません。

そこで、市は国交省で、H16年度から始めた、「まちづくり交付金」事業を利用することにした。

事業費の40%を国が補助するものですが、地域的なまちづくりプランを県に認めてもらう必要があります。これに、H17年度に市の都市計画課を中心に観光課と連携し、計画を作成し認可を得た。ただ、これは市街地のみの対象でなく、若木や川登など、その地域のまちづくり計画を認められれば、事業は可能とのこと、今後周辺部整備への利用も考えて行く必要があると思う。

高架下の利用

川端遊歩道・観光センター
駐輪場・消防詰所を計画



高架下は、基本的には、JRの所有であるが、そのうちの15%を、市に無償で使用させてくれる。理由は、JRが税法で1/3に減免されている事への対応らしい。今回、武雄市は、4ヶ所○川端地区に、遊歩道○新駅西側に観光交流センター○駐輪場を駅東貫通道路を作り、その横に整備する。○消防詰所として第1分団7部の小楠地区に利用される計画です。以上が、無償分であるが、その他の高架下は、JRが有償で貸すが、料金は、近辺土地評価額の6%の年賃料で、たとえば、坪10万円とすると月額坪500円程度。市が、希望を取りまとめJRと交渉するが、区画整理地区(市役所・小楠)内は、H19年度より、地区外は、21年度より貸し出す。また、地区外が遅いのは、工事中は県有地で、高架完成後に、JRと旧線路を交換後に貸すため。一方、高架下利用が明らかにするにつれ、問題視されているのがバスセンター問題で、当然同所に統合されると思っていたが、JRは高架下、祐徳バスは元の付近に作るらしい。せめてキップ自販機など、コンコース近くに集中化し、客の利便を図る必要がある。

また、高架下利用で、私が気になるのは、川端遊歩道のことで、これは、高架計画当初、多くの店が移転をよぎなくされ、またコンクリート橋脚が前に立ち風情がそこなわれるとの反対が多く、高架下の環境を良くする。との約束に従って整備される。

左のペース図が、整備予想絵ですが、私としては、武雄温泉のボンボリ通りにふさわしい、あたたかいイメージの遊歩道を考えていたので、計画絵は、運動公園の照明や植樹のようで事務的な印象で残念です。

できれば、もう少し情緒のある観光客にうらおいを与えるようなものに、一部改良を市に求めたい。

私の質問と市の答弁

①病院事業について

①医師確保の具体策

具体的には、武雄市民病院の脳外科医師ですが、研修医制度（医学生が、専門外の科目も学ぶ）の関係を理由に、佐大に引き上げられていて、それに伴ない、救急の機能面や医業収益も打撃が大きい。

最近の話では、研修後も、不透明と言うことで、ただ佐大教授にお願いするだけでは確保できない様に感じて来た。私が思うに、医師の待遇面も関係あると見る。そこで現在市民病院の医師の給料は、他の公務員と同じく、年数により高くなる。派遣医師は若く、この給与制度では、医師確保は難しい。

そこで、別途研究費を払うとか、一定期間の契約医師制にして給料を上げるとかの方策が必要では？

【木寺病院事務局長】
給料以外の待遇面も関係あると思うが、他の自治体病院の対策も研究調査してみる。

②結核科目の廃止を
現在の結核床のベット利用状況を聞くと、半分以上という事で早く満床にするよう注文すると、事務局長は、結核は病状が多岐に渡り、同室にできず、半分以上限度と言う。一方、先般、伊万里市民病院はH11年度に廃止し、その分、救急の機能強化を図ったりしてある。

同様に武雄市民病院も、結核等は、国立系の専門に任せ廃止し、そこに一般床の個室充実を。

【木寺病院事務局長】
結核科は不採算である。当院も経営診断を発注しているもので、その方針を考慮し判断したい。

②競輪事業
①ナイター競輪の開催
省 略

【大庭経済部長】
武雄の周辺人口が少ないので、費用と収益の関係で実施しない。

②新たな場外発売所の設置
現在、競輪事業は赤字で、基金も、現状で行けば、3～4年後には無くなり廃止の可能性もある。

これからの、競輪事業を続けるならば、本場売上げの少ない武雄競輪においては、新たな専用場外を先手を打って良い場所を作り、売上げを伸ばすしかない。そこで、私の考えでは、現在、公営競技のない沖縄県や、近くでは、前原市付近が良いと思いますが、市の場外展開の考えは。

【大庭経済部長】
新たな場外発売所については、確保に努めるつもりである。

③企業の誘致
①企業誘致特区の反応と対策
若者の就業の場としての企業誘致は大切。市は、県の企業誘致特区第1号として、5免5減と言う固定資産税の減免や工業用水の割引を打ち出した。私は、前回それをどう推進するかを質問。

市は、パンフレットを数百社に送り反応を見て営業するとの答だったが、実際反応はどうで、またどんな対策を取るのか？

【岩谷総務部長】
取り立てて良い反応はなかった。

④水道事業について

①西部広域水道の活用策

H16年度の決算の監査委員の見書の指摘は、水道施設の利用率が41%と半分以上しか活用されず過剰設備であること。また、西部広水受水費の5千2百万円分は支払っているにもかかわらず、利用されていないことであった。

そこで、指摘の、西部広水の不用分を、事業団に返せば良いがそれは無理と思う。利用はできないのか。

【大石水道部長】
利用者の伸びは少ない。西部広水の水は、武雄町・朝日町・橋町で利用している。東西川登方面に送れば利用できるが、現在は送れない。

※私のコメント 1億5千万円で設備改修すれば3年で元をとる。

②新市水道整備計画の中で更新を
私は洲ノ尾浄水場の更新は不要と思っている。部長は、当初老朽化しているの、更新費の概算を調べたいとの発言で、基本設計を作った。その後、「調べる」が「更新」するに急変した。そして金額も、8億円から12億円、今回23億円と一方的に進んでいる。

私は、合併の水道の専門部会で北方や山内からチェックが入るはずと思っていたが、合併前に計画した事業は、合併後も継続するとの方針で、他町は口を出さないと聞いた。やはり、これから払う巨額負債なので、新市の水道整備計画の中で、判断すべきだ。

【古庄市長】
新市の市長が判断する事になる。

⑤下水道事業について
①市設置型の合併浄化槽の実施予定
市民負担が大幅に軽減される市型浄化槽事業を、決断すれば、18年度より実施するとの答弁だった。しかし、今だに、実施スケジュールが明らかではない。ほんとうに、新年度から実施できるのか。

【東島建設部長】
今、下水道マップの見直し中で、スケジュール表は、もうすぐ示すを実施は、18年度後半になる。また、PFI（民間企業）を活用して進めたい。

②公共下水道の接続希望調査を
高架区画事業の負担などで、公共下水道着手は、他市に遅れた。しかし、住民の接続が早ければ最終的な、水化率は、遅れを取り戻すことができる。

処理場は、下水道事業団に事務委託したので、後は、力を接続拡大に向けるべきと思う。その一歩として、まず希望調査の実施を。

【東島建設部長】
接続調査は行う。また、接続希望の多い地区から、優先しての管網整備も考えたい。

⑥教育行政
①県立中学校の適性検査への学校の対応
近くに普通高校がなくなり不便になる。まずは、県立中学校に多くの市内の子供に合格してほしい。試験は無いと言うが、適性検査は、見方では、複合的で試験以上に難しい。一部の学習塾では、聞き取り問題に対応したコースを作るなど、現実に対応した動きもある。市立の小学校でも、希望者には、対応した補習など実施できないのか？

【庭木教育長】
適性検査は、通常の学習をしていれば合格できる。

※後日詳しく聞いた時は、面接等の受け方や礼儀は、教えるという事だった。

②幼稚園の就園奨励金の増額を
合併協議項目で、保育園の保育料については、階層を細分化し、保護者の負担は軽減される予定。

一方、幼稚園児の保護者の負担を押さえる就園奨励金は、武雄市は国の基準以下である。ぜひ、合併を期に増額すべきだと思う。

これは、協議項目でないもので、市民に分りづらい。話の状況を教えてほしい。

【古賀教育部長】
専門委員会の議論では、国の基準に合わせる方針である。

③県立高校2次再編に市教委の意見を
県立校の再編で、武高と青陵が統合し、近くに普通高校がなくなり通学が不便になる。今後県教委の計画によれば、H16～H22年までに、県立校2次再編がされる。

これは、11月の臨時会の案件。12月の市報での広報の為早期提案。内容は、土曜及び日祭日・正月3が日の夜7時から夜9時まで、杵藤地区医師会センターで夜、小児の時間外診療をする。

県が、62万円を支出し、杵藤地区自治体に参加する事業だが、残の費用は、これまでセンターを利用した実績で各自自治体で負担した。武雄市の負担は約90万円。今年の正月3が日の利用の実績は、合計32人であった。

◎ミュージカル「百婆」支援 340万円
武雄のやきもの祖の奥様が夫の亡くなった後も陶芸を広げる話だが、市は、国の芸術文化関係の助成金を受け、それを支出した型。

◎朝日公民館エアコン更新 772万円
古くなった、中央制御のエアコンを、今回個別切換のきく、店にあるような、パッケージ型に変え講堂4台ステージ1台を付ける。

ただ、既製品のエアコンを付けるのに、約70万円の設計費用が別途計上されていたが、それは絶対必要なのか、その予算で、もう1台付けたが良いとの声も。

◎観光客誘致の補助金 100万円
H15年度より、宿泊30日以上の客に、1万円+3000円の泊入数で宿泊費の補助金を出していた。

H17年度は、愛知万博で夏がれが予想され、夏休みキャッシュバックとして、5泊以上の大人に5千円+1万9千円までも補助。その為に、当初150万円の予算が不足して補正した。客は前年並み。

◎中学校の補修工事 150万円
武雄中の登録文化財にでもなりそうな、武道場の補修や同給食室の床面の補修などを実施。

◎福祉タクシー協議会負担 1万円
正式には、杵藤地区福祉有償運営協議会と言うが、要は、特定非営利法人などが、身体の不自由な人の為に、有料で運送する。

法では、自家用車での有料での運送はできないが、国交大臣の許可を受ければ、可能であり、地域ルール作りを話し合う。事務局は、鹿島市の福祉課で。

◎小児夜間救急診療 210万円
これも、合併の県補助金で、たす大の物を、12台程度購入し、合併により、山内・北方からの書類を一同に整理したいと言う。

◎書類ロッカー購入 300万円
これも、合併の県補助金で、たす大の物を、12台程度購入し、合併により、山内・北方からの書類を一同に整理したいと言う。

◎中学校の補修工事 150万円
武雄中の登録文化財にでもなりそうな、武道場の補修や同給食室の床面の補修などを実施。

一方、幼稚園児の保護者の負担を押さえる就園奨励金は、武雄市は国の基準以下である。ぜひ、合併を期に増額すべきだと思う。

これは、協議項目でないもので、市民に分りづらい。話の状況を教えてほしい。

【古賀教育部長】
専門委員会の議論では、国の基準に合わせる方針である。

③県立高校2次再編に市教委の意見を
県立校の再編で、武高と青陵が統合し、近くに普通高校がなくなり通学が不便になる。今後県教委の計画によれば、H16～H22年までに、県立校2次再編がされる。

これは、11月の臨時会の案件。12月の市報での広報の為早期提案。内容は、土曜及び日祭日・正月3が日の夜7時から夜9時まで、杵藤地区医師会センターで夜、小児の時間外診療をする。

県が、62万円を支出し、杵藤地区自治体に参加する事業だが、残の費用は、これまでセンターを利用した実績で各自自治体で負担した。武雄市の負担は約90万円。今年の正月3が日の利用の実績は、合計32人であった。

◎ミュージカル「百婆」支援 340万円
武雄のやきもの祖の奥様が夫の亡くなった後も陶芸を広げる話だが、市は、国の芸術文化関係の助成金を受け、それを支出した型。

◎朝日公民館エアコン更新 772万円
古くなった、中央制御のエアコンを、今回個別切換のきく、店にあるような、パッケージ型に変え講堂4台ステージ1台を付ける。

ただ、既製品のエアコンを付けるのに、約70万円の設計費用が別途計上されていたが、それは絶対必要なのか、その予算で、もう1台付けたが良いとの声も。

◎観光客誘致の補助金 100万円
H15年度より、宿泊30日以上の客に、1万円+3000円の泊入数で宿泊費の補助金を出していた。

H17年度は、愛知万博で夏がれが予想され、夏休みキャッシュバックとして、5泊以上の大人に5千円+1万9千円までも補助。その為に、当初150万円の予算が不足して補正した。客は前年並み。

◎中学校の補修工事 150万円
武雄中の登録文化財にでもなりそうな、武道場の補修や同給食室の床面の補修などを実施。

◎福祉タクシー協議会負担 1万円
正式には、杵藤地区福祉有償運営協議会と言うが、要は、特定非営利法人などが、身体の不自由な人の為に、有料で運送する。

法では、自家用車での有料での運送はできないが、国交大臣の許可を受ければ、可能であり、地域ルール作りを話し合う。事務局は、鹿島市の福祉課で。

◎小児夜間救急診療 210万円
これも、合併の県補助金で、たす大の物を、12台程度購入し、合併により、山内・北方からの書類を一同に整理したいと言う。

◎書類ロッカー購入 300万円
これも、合併の県補助金で、たす大の物を、12台程度購入し、合併により、山内・北方からの書類を一同に整理したいと言う。

◎中学校の補修工事 150万円
武雄中の登録文化財にでもなりそうな、武道場の補修や同給食室の床面の補修などを実施。

一方、幼稚園児の保護者の負担を押さえる就園奨励金は、武雄市は国の基準以下である。ぜひ、合併を期に増額すべきだと思う。

これは、協議項目でないもので、市民に分りづらい。話の状況を教えてほしい。

【古賀教育部長】
専門委員会の議論では、国の基準に合わせる方針である。

③県立高校2次再編に市教委の意見を
県立校の再編で、武高と青陵が統合し、近くに普通高校がなくなり通学が不便になる。今後県教委の計画によれば、H16～H22年までに、県立校2次再編がされる。

これは、11月の臨時会の案件。12月の市報での広報の為早期提案。内容は、土曜及び日祭日・正月3が日の夜7時から夜9時まで、杵藤地区医師会センターで夜、小児の時間外診療をする。

県が、62万円を支出し、杵藤地区自治体に参加する事業だが、残の費用は、これまでセンターを利用した実績で各自自治体で負担した。武雄市の負担は約90万円。今年の正月3が日の利用の実績は、合計32人であった。

◎ミュージカル「百婆」支援 340万円
武雄のやきもの祖の奥様が夫の亡くなった後も陶芸を広げる話だが、市は、国の芸術文化関係の助成金を受け、それを支出した型。

◎朝日公民館エアコン更新 772万円
古くなった、中央制御のエアコンを、今回個別切換のきく、店にあるような、パッケージ型に変え講堂4台ステージ1台を付ける。

ただ、既製品のエアコンを付けるのに、約70万円の設計費用が別途計上されていたが、それは絶対必要なのか、その予算で、もう1台付けたが良いとの声も。

◎観光客誘致の補助金 100万円
H15年度より、宿泊30日以上の客に、1万円+3000円の泊入数で宿泊費の補助金を出していた。

H17年度は、愛知万博で夏がれが予想され、夏休みキャッシュバックとして、5泊以上の大人に5千円+1万9千円までも補助。その為に、当初150万円の予算が不足して補正した。客は前年並み。

◎中学校の補修工事 150万円
武雄中の登録文化財にでもなりそうな、武道場の補修や同給食室の床面の補修などを実施。

◎福祉タクシー協議会負担 1万円
正式には、杵藤地区福祉有償運営協議会と言うが、要は、特定非営利法人などが、身体の不自由な人の為に、有料で運送する。

法では、自家用車での有料での運送はできないが、国交大臣の許可を受ければ、可能であり、地域ルール作りを話し合う。事務局は、鹿島市の福祉課で。

◎小児夜間救急診療 210万円
これも、合併の県補助金で、たす大の物を、12台程度購入し、合併により、山内・北方からの書類を一同に整理したいと言う。

◎書類ロッカー購入 300万円
これも、合併の県補助金で、たす大の物を、12台程度購入し、合併により、山内・北方からの書類を一同に整理したいと言う。

◎中学校の補修工事 150万円
武雄中の登録文化財にでもなりそうな、武道場の補修や同給食室の床面の補修などを実施。

一方、幼稚園児の保護者の負担を押さえる就園奨励金は、武雄市は国の基準以下である。ぜひ、合併を期に増額すべきだと思う。

これは、協議項目でないもので、市民に分りづらい。話の状況を教えてほしい。

【古賀教育部長】
専門委員会の議論では、国の基準に合わせる方針である。

③県立高校2次再編に市教委の意見を
県立校の再編で、武高と青陵が統合し、近くに普通高校がなくなり通学が不便になる。今後県教委の計画によれば、H16～H22年までに、県立校2次再編がされる。

これは、11月の臨時会の案件。12月の市報での広報の為早期提案。内容は、土曜及び日祭日・正月3が日の夜7時から夜9時まで、杵藤地区医師会センターで夜、小児の時間外診療をする。

県が、62万円を支出し、杵藤地区自治体に参加する事業だが、残の費用は、これまでセンターを利用した実績で各自自治体で負担した。武雄市の負担は約90万円。今年の正月3が日の利用の実績は、合計32人であった。

◎ミュージカル「百婆」支援 340万円
武雄のやきもの祖の奥様が夫の亡くなった後も陶芸を広げる話だが、市は、国の芸術文化関係の助成金を受け、それを支出した型。

◎朝日公民館エアコン更新 772万円
古くなった、中央制御のエアコンを、今回個別切換のきく、店にあるような、パッケージ型に変え講堂4台ステージ1台を付ける。

ただ、既製品のエアコンを付けるのに、約70万円の設計費用が別途計上されていたが、それは絶対必要なのか、その予算で、もう1台付けたが良いとの声も。

◎観光客誘致の補助金 100万円
H15年度より、宿泊30日以上の客に、1万円+3000円の泊入数で宿泊費の補助金を出していた。

H17年度は、愛知万博で夏がれが予想され、夏休みキャッシュバックとして、5泊以上の大人に5千円+1万9千円までも補助。その為に、当初150万円の予算が不足して補正した。客は前年並み。

◎中学校の補修工事 150万円
武雄中の登録文化財にでもなりそうな、武道場の補修や同給食室の床面の補修などを実施。

◎福祉タクシー協議会負担 1万円
正式には、杵藤地区福祉有償運営協議会と言うが、要は、特定非営利法人などが、身体の不自由な人の為に、有料で運送する。

法では、自家用車での有料での運送はできないが、国交大臣の許可を受ければ、可能であり、地域ルール作りを話し合う。事務局は、鹿島市の福祉課で。

◎小児夜間救急診療 210万円
これも、合併の県補助金で、たす大の物を、12台程度購入し、合併により、山内・北方からの書類を一同に整理したいと言う。

◎書類ロッカー購入 300万円
これも、合併の県補助金で、たす大の物を、12台程度購入し、合併により、山内・北方からの書類を一同に整理したいと言う。

◎中学校の補修工事 150万円
武雄中の登録文化財にでもなりそうな、武道場の補修や同給食室の床面の補修などを実施。



行政視察報告

行ったり
来たり

観光旅行ではないかとの批判もある、議員の行政視察ですが、私自身は、意味はあるとの認識です。以前は、常任委員会には、1議員、12万円あり、東北地方まで行けましたが、現在は8万円で、関東・甲信越程度です。

旅行会社のパックツアーでは、東京3万8千円ぐらいであります。市の旅費規定では、約5万5千円の正規の料金になっています。格安チケットで、北海道に実質行けても、旅費規程で視察することはできないシステムです。

宿泊は、1万3千円以内で、日当が2千6百円付きますが、これも8万円の中から支出します。普通、2泊3日の行程でしたが最近、1泊にして残りの費用で

行政視察ミニレポート

ここで、私がこれまで視察した所についてポイントのみ報告

■H15年度・建設委員会

◎諏訪市 市街地や郊外観光施設周辺に散歩コースを整備し、歩いて観光と健康を推進する。事業名は「ウォーキングトレイル」

◎佐久市 水道事業を6市町村で行う水道企業団で運営。10万人分を36人の職員で対応。各自治体が、施設老朽化時に独自に更新せず、随時加入して来た。

■H16年度・建設委員会

◎小松市 下水道事業で、特に下水道接続を中心とする、普及促進課で、地区接続組合設立やPRを専門とする課の設置で加入者拡大

◎砺波市 家が散在し、公共下水道が非効率なので、下水道マップを見直し、一部市設置型の浄化槽事業に全国に先がけて着手。

遠くへ行くパターンも増えました。批判の多い海外視察は、10年程度前から休止されています。

総務・民主・産業・建設の常任委員会8万円で、市街地・環境・水害の特別委員会は6万円の費用。1議員、約8万と6万の12万円を支給されるのが、議員によって

は、政務調査費20万円を使って会派で視察されるケースも多い。視察場所や行程については、委員会の副委員長が、原案を出すのが恒例で、また、報告書を作成することも多い様です。

私は、落選が多く、2回当選組の二期生で、ちょうど副委員長に当り、この3年間、視察6ヶ所に中心にかかわってきました。報告書は、解りやすく書きまし

また、水道事業も、広域水道の契約水量をいっぱい使い、不足分を自己水源で補足する賢い行政

■H17年度・建設委員会

◎相生市 入札改革で、特に、「地域限定入札」で、最近言われる地元発注だが、一方受注額の高止まりの指摘もある。そこで、予定価格より数%低い「入札希望価格」を示し、それで良い地元企業のみに限定して受注させる。

◎篠山市 合併第1号の市で、合併特例債の活用も先進地で、百%利用の197億円の内の150億円は活用済み。中学校改築に校区を見直し特例債事業に乗せ26億円も活用していた。特例債の活用は、市役所の企画・交渉能力の差が出る痛感。一方、合併で分れた、嬉野も偶然同日に視察に来ていてびっくりした。

※特別委員会では、H17阿南市に黒字の漁排処理事業。H18臼杵に下水と浄化槽汚泥の共同処理を視察。

たが、ただ、市民はもちろん市職員もあまり見ないと思います。

一方視察先の選定は、全国議事会が4年おきに出版している本で「全国都市の特色ある施策集」を見て、決めている場合が大半です。

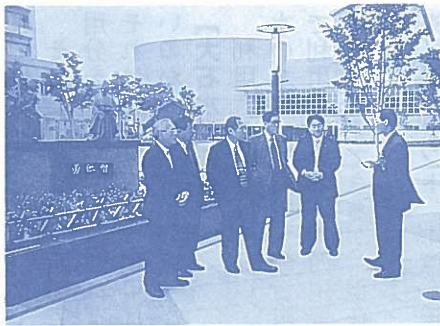
各市から、5事業紹介する形で武雄市は、①「行政改革の推進」②「トムソーヤプロジェクト」③「リサイクルセンター」④「新火災情報システム」⑤「美味噌まんじゅうの街づくり」

を武雄の市政自慢としてPRしている。この3年間の実績は、①行革が、山形県天童市他7市町②のトムソーヤ関係が福島県岩城市他9市町③リサイクル関係が、宮城県名取市他2市④の火災関係が、岩手県石巻市他6市⑤のおしくら

関係が岩手県花巻市他2市で北は東北地方が限度のようです。他市からの視察は以上の状況。



篠山市特例債活用を聞く
左から1人目



小松市駅周辺整備現地
右から2人目

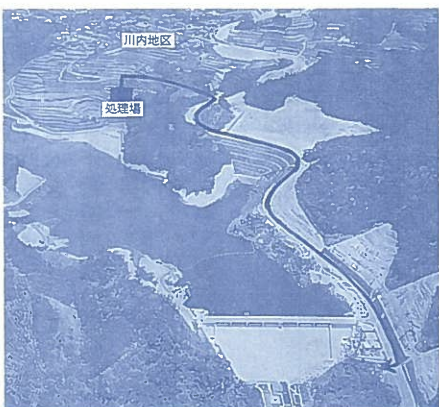
ミニ情報コーナー

川内の農排の処理水、ダムを迂回へ

農村部の下水道であるが、西川登町の矢筈地区は終り、現在、若木町の川内地区に配管中。H18、19年には、処理場を作りH20年には使用できる予定。

これまでの処理水を、処理場下流の本部ダムに放流する計画だった。私は、う回を以前より提案していたが、費用が上るとして聞き入れてもらえず残念だった。

ところが、下水道課は、12月の委員会、処理水のダムう回を表明、市負担額は、二百万円程度。



図書館の金曜1時間開館延長

各地の図書館でも、勤労者や親子での図書館利用の為に延長を実施している。

教育長の話を総合すると、合併を期に延長を判断する模様。

乳ガンのマンモ検診のその後

機械による乳ガン検診であるが、40才以上の会社等で受診できない2641人に案内を出す、それ以外の人も受診できる。その結果、1018名が受け、約10%の119名が精密検査を受

けたと言う。また、希望者が多く、一般健診18日間に加え、乳ガンのみを3日間もうけた。

国の指針で、2年に一度で良いとの方針で、今年受けた人は、来年は市の検診は受けられない。

市営住宅の子育て家族等の優先入居

国が、公営住宅に、子育て家族や、DV被害者や被害者を単身入居できるように法改正し、武雄市も、新市発足と同時に、市の条例を改正する予定だが、今回完成する下山住宅の募集に間に合わない。

放置自動車の処分条例その後

H16年4月より、公園や道路に放置した自動車を、市民の通報により処分したが、これまで約2年間の間に、23台あり、警察や陸運事務所の協力により15台は所有者に対応させ、5台は解体業者に有償で渡し



たが、リサイクル料金などで、利益は無いと言う。

学校の牛乳パック回収状況

学校単位の取り組みの型だが、市内小中全校で実施、月600K程度で、子供が洗った箱を事務員及び教育委員会回収し、業者に1K1円で引き取ってもらうが、運送時の袋代に消えると言う。

子供クラブや婦人会の古紙、古布にはK4円の補助金があるが、これを児童会にも適用し、校内美化の資金にできないかと思う。

新武雄市の課題

私が考える、新市4年間の課題と思うものを紹介しますので、今後の参考にして下さい。

①水道料金の低減の方策。特に23億円の瀬ノ尾浄水場更新の可否。②市民病院の赤字対策。特に5年後に、東部地区に移転するか。③競輪事業の赤字対策。特に基金が無くなった時の判断。④合併特例債事業決定。特に、事業選定方法と利用限度。⑤企業誘致の具体的方策と目標。⑥市の収入役を置くか、廃止か。⑦行革や民営化をどの程度するか。⑧普通高校の近隣への必要性は否。⑨中心市街地への具体的な方策。⑩子育て支援や少子化への具体策。⑪地域自治組織や住民参加の方策。⑫新市職員給与は市並か、現給か。⑬水洗化率向上の方法。⑭女性参画・登用の具体策。⑮市内循環バスの利便向上。

制作後記と今後のプラン

三月議会はなく、2月末で議員の任期も終了するので、栄八通信も、今期最後の発行となります。ご愛読ありがとうございました。

「通信を楽しみにしよう……」など市民の方に声をかけていただくことがあります。もちろん、公約です。止める気はありません。が、私は本来弱い人間で、時々投げ出すことが頭をよぎる事も多く、そんな時、元気づけられました。

発行の目的は、市の事業の結果等は市報で分かるので、事業決定前に状況を伝え、市民の方が、計画段階から、意見を言ってもらい、決ってからでは変更のきかない行政に、できるだけ市民の意志を反映したいの思いからです。できればまた、広くなった新武雄市の情報を解りやすく伝えられればと思います。